

長崎 もり通信

— NAGASAKI FOREST NEWS —

特集▼佐世保市立港小学校 木育フィールド学習を実施しました

- 森林整備に必要な道具や機材を貸し出しています
- 森のキセキ「リョウブ」と「カクレミノ」

084号

R5.9月

佐世保市立港小学校 木育フィールド学習を実施しました

令和5年9月7日（木）8日（金）長崎県立佐世保青少年の天地にて、佐世保市立港小学校5年生37名を対象にネイチャーゲームと木工体験の木育フィールド学習を実施しました。当日は天候にも恵まれ森林体験には好条件となりました。

1日目はネイチャーゲームを実施しました。佐世保青少年の天地の「どんぐりの森」で、紙袋にスギやヒノキの葉や実を入れて、触った感覚を頼りに同じものを探してくるゲームを行いました。参加児童たちは恐る恐る袋に手を入れ、「チクチクする葉っぱだ！」



「平べったい葉っぱ・・・学校にあるやつだ！」等の感覚を覚え、森林内で自分の触った感触を頼りに同じ葉っぱや実を見つけていました。答え合わせの際にはスギやヒノキの樹木を見て、その特徴や木材の使われ方、間伐の重要性等を講師から聞き、大きくうなずいていました。2日目には、スギ・ヒノキ材を用いた木工体験を行いました。最初に県北振興局林業課より、県の作成した副読本「めざせ森林・林業



・木材マスター」に沿って、前日に見て触ったスギやヒノキについて、また、森林のはたらきについて等講座が行われました。その後、佐世保林業研究会の岡氏が講師となって、スギやヒノキ材を使ったツリー型小物置きを制作しました。参加児童はサンドペーパーを使って研磨し、「木のいいにおいがする！」「表面がつるつるになったから、さわってみて！」と楽しみながら作業を行っていました。

夢中になって研磨する児童が多く、少し時間を延長し、それぞれ満足のいく作品を仕上げていました。

今回は2日間の木育フィールド学習でしたが、森林を感じ、木に触れ、学び、充実した内容となりました。



森林整備に必要な 道具や機材を貸し出しています

センターでは、森林ボランティア団体が行う森林整備やフォレストマスター派遣の際に使用する下記一覧表の機材・道具を無料で貸し出しています。安全に活動するための必要な道具も揃えておりますので、ぜひお役立ていただければと思います。

道具や機材はそれぞれ数に限りがあります。貸し出しをご希望の方は先ずセンターにご連絡をお願いします。なお、お手数ですが貸し出しの際はセンターまで受取りに来ていただき「機材貸出申込書」のご提出をお願い致します。

貸出し機材・道具一覧表

チェーンソー大(エンジン式)	チェーンソー中(エンジン式)	チェーンソー小(エンジン式)
刈払い機(エンジン式)	ヘルメット	手ノコ
ナタ	カマ	鉋鎌
フォレストヘルメット	ポリエステルスリング	ロープウインチ
フェリングレバー	滑車	チャップス
チルホール	トング(丸太運搬用)	かけや
目立て道具	ゴーグル	ベルト
斧	森林環境税のぼり	スコップ
薪割り機(エンジン式)	セーバーソー(コードレス)	かんな(コードレス)
インパクトドライバ(コードレス)		

エンジン式薪割り機



薪割り機の使用上の
注意や使い方はこ
ちらの動画から⇒



チップパー



木材や竹材の活用に役立ちます！

伐採等の森林・竹林整備をおこなって出た材の資源活用に役立つ、エンジン式薪割り機やチップパーのレンタルも無料で行っております。チップパーのレンタルはキャタピラー九州(株)長崎支店(諫早市)へ取りに行ける方に限ります。別途、チップパーレンタル経費助成申込書をセンターまでご提出ください。

森のキセキ …リョウブとカクレミノ…

軌跡

①リョウブ（令法）

リョウブ（令法）は、北海道南部、本州、四国及び九州に分布するリョウブ科の落葉樹です。古名はハタツモリ。高さは10m程度になります。この樹木は丘陵や山の尾根に自生しますが、夏になると白い特徴的な花を咲かせるので車道脇でも目立ちます。樹皮は薄片となっはがれ、あとは茶褐色でなめらかです。リョウブの幼芽は、生で食べても甘味があっておいしいそうです。

リョウブの名前は、実は令法に由来します。令法は飛鳥時代の法体系の意味ですが、飢饉に備えて各地で植栽、貯蔵、採取を令法によって命じたことからこの名前が付いたそうです。日本各地でリョウブの幼芽を食べる話を聞きますが、長崎県内ではどうでしょうか、定かではありません。



②カクレミノ（隠蓑）

カクレミノ（隠蓑）は関東から西の本州、四国、九州及び沖縄に分布するウコギ科の常緑小高木です。高さは7m程度になります。カクレミノの別名はテングノウチワですが、ヤツデの別名も同様です。

この植物は、葉の形が生長に伴って大きく変わるのが特徴です。葉の形が変化する理由は、葉にできるだけ光を受けるためだそうです。写真のように背が低いうちは葉に切れ込みがあった方が、下の葉にも光が当たりやすくなります。生長して高さを得てからは、大きな葉の方が光を受けるのに有利なので、分裂せずに楕円形になるといわれています。



センターからのお知らせ



8月から長崎県森林ボランティア支援センターのインスタグラムを始めました！センターの最新の活動や情報、森林づくり活動について幅広く投稿していきたいと思えます。ぜひ一度ご覧ください。

森林ボランティア支援センター スタッフ一同

QRコードはこちら↓

